

令和3年8月30日

| | |
|-----|--------------|
| 担当課 | 長崎県IR推進課 |
| 担当者 | 小宮、山下 |
| 電話 | 095-895-2037 |

九州・長崎IRにかかる設置運営事業予定者の決定について

1. 協定の締結

令和3年8月30日付で、九州・長崎特定複合観光施設設置運営事業募集要項の優先交渉権者である以下の応募グループと基本協定を締結し、設置運営事業予定者として決定いたしました。

○設置運営事業予定者

CASINOS AUSTRIA INTERNATIONAL JAPAN

(代表企業名：CASINOS AUSTRIA INTERNATIONAL JAPAN 株式会社)

【カジノオーストリア・インターナショナル(CAI)】

カジノオーストリア・インターナショナルは、カジノオーストリアAGが1934年にオーストリア共和国により設立された後、グループの国際的活動を統合するために1976年に創業。以来グループ全体で、35か国、215のカジノと娯楽施設の開設に携わってきた。世界的に優れたゲーミング施設を表彰する「国際ゲーミングアワード」において、2008年・2009年・2011年・2012年・2015年に「ヨーロッパにおける最高賞」、2010年に「社会貢献賞」を獲得。

カジノオーストリア・インターナショナルの日本展開を目的に、2017年にCASINOS AUSTRIA INTERNATIONAL JAPAN 株式会社を設立。長崎県の設置運営事業予定者として、安全安心で、魅力的な九州・長崎IRを実現し、IR事業を通じた地域貢献を目指す。

2. 選定経緯と今後のスケジュール

令和3年

- 1月7日 [県] 設置運営事業募集の開始
- 3月19日 [県] 一次審査結果の公表
- 8月10日 [県] 二次審査結果の公表（優先交渉権者の公表）
- 8月30日 [県] 基本協定の締結
- 10月1日 [国] 区域整備計画認定申請の受付開始

令和4年

- 4月28日 [国] 区域整備計画認定申請の受付締切

3. 設置運営事業予定者の提案概要

【開業総事業費】 3,500億円（想定）

【延べ来訪者数】 840万人／年（想定）

【コンセプト】

＜東洋文化と西洋文化の融合 -真の和洋折衷を実現-＞

九州・長崎の歴史文化を継承し、オーストリア国有企業グループの強みを活かした伝統的で高級感のあるIR施設。長崎を拠点として「観光産業革命」を実現し、九州、日本、アジア、世界、全てが融合する世界都市を目指す。

【グループ実績】

- ① 世界のカジノグループ企業で厳格な世界標準規格をクリア：贈収賄防止マネジメントシステム（ISO 37001）、コンプライアンスマネジメントシステム（ISO 19600）
- ② 国有企業ならではの厳しい審査を受けたクリーンな運営実績
- ③ 厳格な規制を設けているEU各国でカジノ事業を実施してきた実績
- ④ 資金洗浄対策本部を設置し、厳しい基準を満たす運営
- ⑤ 欧州で培った知見を活用したギャンブル依存症対策運営

【施設概要】

- ・1号、2号施設（MICE施設）

国内外誘致競争に勝ち抜くため、世界トップレベルで使いやすい会議

場・展示場とし、常に最先端の ICT 技術を導入し続ける、オンリーワンの施設（国際会議場：最大 6,000 席／展示場：展示総面積 20,000 m²／他）。

• 3号施設（魅力増進施設）：

多種多様なプログラムを実施できるようなモダンジャパンをコンセプトにした複数の屋内外施設（ジャパン・ハウス／ジャパン・スクエア&ジャパン・ストリート／他）。

• 4号施設（送客施設）：

来訪者の属性や趣向に合わせた最適な送客を実現し、歴史的文化財や自然等をコンテンツ化（ショーケース機能／コンシェルジュ機能／他）。

• 5号施設（宿泊施設）

国内外で高品質なホテル運営を展開する外資系ホテルブランドが運営。ラグジュアリーからデラックス、スーパー、更には高級旅館まで幅広い客層をターゲット（高層高級ホテル／ホテルヨーロッパ改装／高級温泉旅館／他）。

• 6号施設（来訪促進施設）

幅広い分野で、集客力の高い魅力的かつ最先端のコンテンツを提供。IR施設来訪者の属性・趣味嗜好、滞在中の行動データを分析・活用（コンサートホール／パレスハウステンボス・ミュージアム／メディカルモール／無人島観光／マリニアクティビティ／他）

• カジノ施設

オーストリア風のデザインを採用し、ヨーロッパを取り込んだ格式高い大人の社交場（ゲーミングスペースの面積はIR全体延べ床面積の3%以下）。

• 附帯事業等

IR区域周辺の附帯事業や長崎県・佐世保市施策への協力を通じて、陸・海・空の交通の利便性向上を図る（ラストワンマイル交通事業／大村湾海上交通事業／大村港・早岐港ターミナル運営／データプラットフォーム／航空便誘致／他）。

- 懸念事項対策

CAIグループが世界各国において培ってきた知見やネットワークを最大限に活かした世界最高水準の懸念事項対策を実現（ギャンブル等依存症対策／治安維持／防災＆防疫／青少年健全育成／他）。

- 地域貢献・地元連携

地方創生や地域経済への貢献を最重視し、IR事業の実現に「共感と信頼」を得るため理解促進・合意形成に取り組む（地元調達／地元消費／環境保全促進／ハウステンボスとの連携・景観調和／スマートシティ／地元雇用／人材育成支援／住環境整備／等）

○提案パース

